2022年9月吉日

各　　位

宮崎県かるた協会

会長　柘植　健

第38回全国競技かるた宮崎大会DE級の開催について

（ご案内）

　晩秋の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

感染症対策に万全を期して開催いたしますが、感染リスクを完全に抑えることはできません。

直前の感染状況によっては、開催を中止することもあります。ご承知おきの上お申し込みください。

記

1. 開催日時：2022年10月30日（日）

　　　　　受付：8:30～9:00　　競技開始　　9:20　　※開会式は、1回戦着席時に簡易的に実施

1. 開催場所：ひなた武道館（宮崎県武道館）柔道場

　　　　　　　　宮崎市大字熊野2206-1（宮崎県総合運動公園内）

　　　　　　　　※会場への電話などでの問い合わせはご遠慮ください。（お問い合わせは下記事務局へ）

1. 大会規定：全日本かるた協会競技会規定による
2. 競技規定：全日本かるた協会競技規定による（各級トーナメントによる個人戦）
3. 参加区分及び参加料（参加料は各団体（登録会）ごとに取りまとめてのお支払いとなります）

　　　　　　　　　D級（初段の者またはD級出場経験のある無段者）　 ：2,000円

　　　　　　　　　E級（無段者で初段を志す者） 　　　　　　　　　　：1,500円

1. 出場資格：九州支部内に在住、在勤、在学する者

感染防止のため、「無観客」とし、保護者、引率者も競技場への入場はお断りします。

【大会参加者へのお願い】を必ずご確認ください。

1. 定員：DE級合計で150名程度（感染状況にもよる）。定員超過の場合、締め切り後に抽選を行います。
2. 表彰　3位まで（5回戦、分割あり）

　　　　　入賞者の氏名は全日本かるた協会のHPおよびマスコミで公開します。

1. 審判長　：　上原正義　公認審判員

読　手　：　永吉寛行　A級公認読手ほか

　　主　催 ：　宮崎県かるた協会

　　公　認 ：　一般社団法人　全日本かるた協会

1. 連絡先、申込先

 宮崎県かるた協会事務局　上原慶子

 　　　　　　e-mail：　karuta@miyazaki-catv.ne.jp

　　　　　※住所、電話番号については、各県かるた会など所属会にお問い合わせ下さい。

事前申し込み制で、当日の出場申込はできません。

**専用の申込用紙（別紙）に必要事項を記入し、**

**宮崎県内の方**　→　各団体（学校など）でとりまとめの上、上記事務局に直接

**宮崎県外の方**　→　各県のかるた会を通じて

**10月1日（土）　～　10月8日（土）20:00**に、**メールで**お申し込み下さい。

受付確認の返信メールを必ずお送りします。届かない場合はお電話下さい。

**【大会参加者へのお願い】**

以下の内容を確認の上、ご参加ください。

**参加の条件****（当日も必ずご確認のうえ、ご来場ください）**

□　未成年の方は、保護者、学校の承諾を得ている。

□　平熱以上の発熱、体調不良等の自覚症状がない。

□　同居者も含め、濃厚接触者、感染の疑いのある状況ではない。

□　会場では、終日、不織布マスクを着用する。

　　　※健康上の理由などで、不織布マスクの着用ができない方は事前にご相談ください。

**入口～受付時の注意**

* 着替えは可能な限り済ませてから来場する。
* 以下の手順で受付をすませる。

1.　競技場（柔道場）入口で検温・手指の消毒

2.　各団体の代表者が**封筒（必要書類入り）**を受け取る（団体のくくりは、申込時に指定）

3.　ゼッケンシールを指定の場所に貼る。靴を靴袋に入れる（**封筒**に人数分入っています）

4.　諸注意の文書をもらい、よく読む（**封筒**に人数分入っています）

5.　団体ごとに参加料を**封筒**に入れる（お釣りのないように）

6.　各団体の代表者が受付に参加料を入れた**封筒**を提出する

**競技場、会場内での注意**

* 受付締め切り後、すぐに組み合わせを発表し、着席する。
* 1回戦着席後に、簡単な開会式を行うので、不戦勝の場合も会場にとどまっておく。
* **素振りの際に畳をたたかない（全日協ガイドラインによる禁止事項）**

□　**競技中の声出しは必要最低限（開始と終了のあいさつのみ）とする。**

□　試合の前後に、各自手指の消毒を必ず行う。

* 競技場（柔道場）内での、水分補給以外の飲食は禁止。

飲食は、競技場（柔道場）外廊下などで「黙食」のこと。

※控室は狭いため、引率者優先とします。選手の利用はご遠慮ください。

**その他**

* 引率者は、控室（小会議室）など競技場（柔道場）外で待機する。（控室は引率者優先です）
* **競技場（柔道場）だけでなく、外廊下、控室でもおしゃべりは極力控える。**
* 敗退後は、寄り道せず帰宅する。
* 大会終了後2週間は健康観察を続け、

発症した場合、また濃厚接触者と認定された場合は大会事務局に速やかに報告する。